

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てとでのキッズ 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和8年1月16日		令和8年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 21名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 22名	(回答者数)	21名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	間接支援に力を入れることで園での課題や困り事を知ること で対応策を提示し改善をキャリアのある作業療法士が支援を行 っていること。	・先生が情報共有しやすい時間帯で設定させていただいてい ること。 ・困りごとに対するアプローチができるような準備を行ってい る。	「情報共有」で終わらず、訪問支援員と先生と一緒に考える ことで先生方が主体的に対応できるようなサポートを行って いくこと。
2	豊富な療育道具から手作りの物まで療育の様子をお伝えしなが ら、これならできる！という提案を行っている。	園の環境を生かしたカスタマイズ案を具体的に提示していま す。「例えば、集会の時にじっと座ることができない子に対し て、この時には、園にあるマットを使うことで、本人の分かり やすさに対する支援を伝える。」	園独自の環境に合わせた提案をすることで、先生方の「これ ならできる」という納得感を高められるような支援を行う。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員1名の体制となっている。	人員体制を今後増やしていくと、安定的な訪問支援が継続でき るのではないかとと思われる。	法人内で協議をしていく。
2	開所日が毎週月曜日の午後のみとなっている。	上記同様、今後人員が増えれば、開所日の拡充も視野にいれて いけるのではないかとと思われる。	法人内で協議をしていく。
3	希望されても、予約枠でいっぱいですぐに訪問に行けないタイ ミングがある。	上記同様、今後人員が増えれば、開所日の拡充も視野にいれて いけるのではないかとと思われる。	法人内で協議をしていく。